

需給調整市場システムの改修状況を踏まえた 週間取引スケジュールの対応について

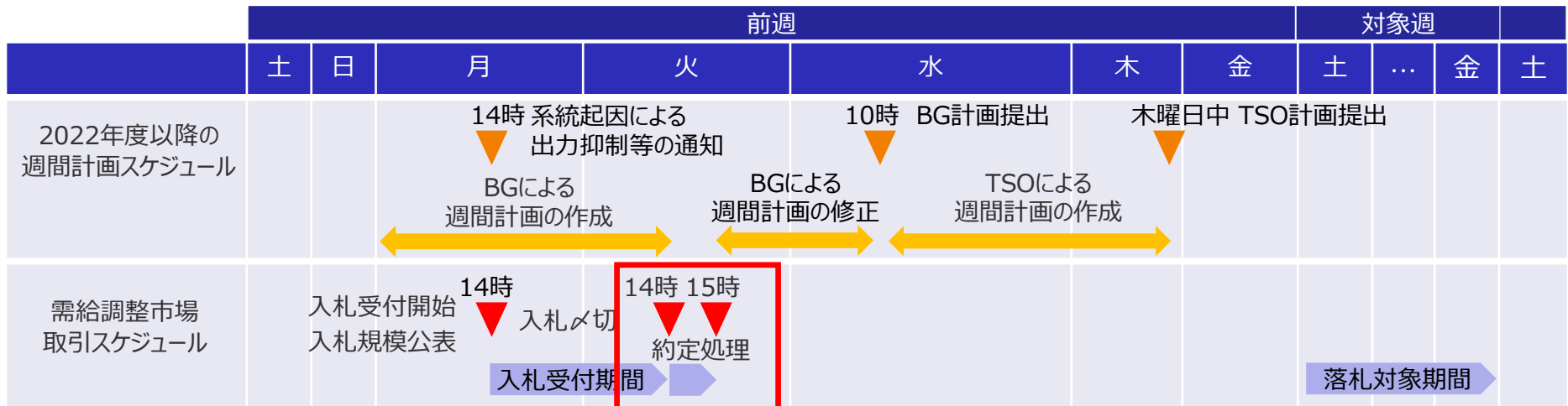
2023年3月28日

需給調整市場検討小委員会 事務局
調整力の細分化及び広域調達の技術的検討に関する作業会 事務局

- 現在、一次～三次①および複合商品（複合約定ロジックによる商品）の2024年度から取引開始に向けて、需給調整市場システム（以下、MMS）の改修および検証を一般送配電事業者にて進めているところ。
- その検証において、複合約定ロジックは非常に複雑なロジックとなることから、ケースによっては約定処理時間が既存の週間取引スケジュール内では収まらないことが判明した。
- そのため、週間商品である、一次～三次①および複合商品の週間取引スケジュールにおける対応について、ご議論いただきたい。

- 需給調整市場における週間商品の取引スケジュールについては、実需給の前週月曜日14時に市場開場し、前週火曜日14時に入札締切としている。
- 前週火曜日14時~15時において、MMSを用いて、約定処理を行い、約定結果を公表することとなっている。
- また、調整力提供者は、約定結果を前週水曜日（約定処理の翌日）の10時に、約定結果を含めた計画を広域機関に提出することとなっている。

【現状の週間商品の取引スケジュール】



約定処理は1時間以内

- 現在、2024年度の一次～三次①および複合商品の取引開始に向け、一般送配電事業者にてMMS改修およびプロト検証を進めているところ。
- プロト検証において、入札札数が多いケースの場合、現状の約定処理時間である1時間では計算処理が終わらないケースがあることが判明した（詳細については、資料4-1参照）。

3-8. 計算打ち切り時間と約定時間(3/3)

39

- このため、**約定処理の時間(14時～15時)は原則変更せず**に、万一、計算結果の出力が**15時以降となったとしても、正式な約定結果として公開**する等、**可能な限り約定処理を中止しない(=取引中止としない)**打ち切り時間としたい。
- **ブロック単位の具体的な打ち切り時間は並列化による実績時間を製作・試験工程で確認した上で決定**することとしたい。
- また、市場の活性化や事業者行動の変化等により、約定結果の公開が常態的に15時以降となるような傾向があった場合には、国や広域機関と相談の上、対応方法を検討していく。

約定処理が最長ケースでの公開時間*	最適化計算に用いられる時間	1ブロックあたりの打ち切り時間	入札数による約定結果の差異 (30スライドの検証結果より)	
			512札	1,024札
15時頃	約30分	約200秒	準最適解の許容範囲の設定次第で 取引中止は回避可能	取引中止
16時頃	約90分	約600秒	最適解	最適解

※ すべてのブロックが打ち切り時間まで計算していた場合の公開時間。
最適解が求めれば打ち切り時間を待つことなく次のブロックの計算に着手するため、600秒に設定した場合でも通常は15時までに公開できるものと思料。
なお、本公開時間は、複数の処理の積み重ねになるため、あくまでも目安。



目的外利用禁止 送配電網技術・運用委員会

©Transmission & Distribution Grid Council

- 約定処理を確実に終わらせるためには、スケジュール上、約定処理にあてる時間自体を延長することが考えられる。
- 他方、約定処理に時間を要するケースが限定されていること、約定処理を延長することにより、調整力提供者の計画修正時間が減少することを踏まえると、まずは、原則、約定処理時間は1時間とし、1時間を超える場合については、一般送配電事業者（取引所）がHP等に公表※するとともに、約定処理完了後速やかに約定結果を公開することとしてはどうか。
- なお、取引スケジュール（約定処理にあてる時間）自体を変更するかどうかについては、2024年度のシステム運開以降の約定処理実績や応札不足対応のシステム改修等も踏まえて、別途検討することとする。

※具体的な公表方法は、一般送配電事業者にて別途検討

【プロト検証結果を踏まえた週間商品の取引スケジュール】



原則、14時～15時
但し、上記を超える場合は一般送配電事業者がその旨をHP等に公表する